



-
- <内容>
- 1 京都府地域リハビリテーションコーディネート事業が起動
 - 2 リハビリ支援センターではこのようなことをしています
 - 3 リハビリの相談窓口
 - 4 こんにちは、中丹東地域リハビリテーション支援センターです
 - 5 リハビリテーション従事者研修会のご案内
 - 6 リハビリ支援センター Q & A コーナー
-

1 地域リハビリテーションコーディネート事業が起動

平成23年度から京都府が策定した「京都市域包括ケアシステム」を実現させるため、オール京都体制の取り組みの一つ、「在宅療養を支えるリハビリシステムプロジェクト」では、平成13年度に始まった「地域リハビリテーション連携推進事業」をさらに発展させた「総合リハビリテーション推進プラン」を策定し、機能障害を伴う患者の状態に応じた適切なリハビリテーションが府内全域において提供できる総合的なリハビリテーション提供体制の整備・推進を目指しています。その総合リハビリテーション体制を充実・強化するため、①リハビリ人材の育成、②地域のリハ拠点施設の整備充実、③府全域での急性期、回復期、生活期のシームレスなリハビリ提供体制の構築といった施策が掲げられ、各圏域における事業展開の準備が急がれていましたが、この度、地域リハビリテーション支援センターの機能を充実させて、新たに「地域リハビリテーションコーディネート事業」として再起動することができました。

事業の内容は、昨年まで地域リハビリテーション支援センターとして活動してきた、舞鶴赤十字病院を中丹東地域リハビリテーション支援センターとして、また福知山市民病院を中丹西地域リハビリテーション支援センターとして新たに指定し、それぞれに専門的なコーディネーターを配置し、地域包括支援センター等が開催する連携会議等に参加し、リハビリに関する助言や相談に対応したり、地域のリハビリ従事者を訪問して相談や指導を行ったり、病院施設の連携窓口担当者やケアマネジャーと定期的に事例検討会等を開催したりします。（詳しくは次の項を参照）

また、地域リハビリテーション支援センターには、①圏域におけるリハビリテーションの基幹病院として高次脳機能障害への対応や新たなリハビリ技術の導入など高度なリハビリテーション医療を提供する能力を有すること、②医療機関を始めとする地域の他のリハビリ提供施設、地域包括ケアに係る関係機関との連携・調整能力に優れていること、③研修受入や施設の共同利用等を通じて地域全体のリハビリ資源の拡充を図るなどの高い資質が求められています。

<詳細はホームページ <http://www.chutan-rh.jp> をご覧下さい>

2 リハビリ支援センターではこのようなことをしています

昨年まで継続してきた事業の内容や対象者をさらに拡大させ、サービスを充実させました。

中丹地域リハビリテーション支援センター ではこのようなことをしています



サービス内容



●相談受付サービス

府民のみなさまや地域包括支援センター等の事業所からリハビリに関するご相談を、電話、ファックス、電子メール、相談窓口にて受け付け、関係機関と連携し問題の解決を図ります。

●情報発信サービス

地域のリハビリに関する資源調査をおこない、連携推進ガイド等の情報誌を発行し、ホームページにてリハビリに関する資源情報を提供しています。 <http://www.chutan-rh.jp>

●訪問指導サービス

リハビリや介護に関わられている方々を対象にご自宅や事業所さまをPT、OT、STが直接訪問し、事例を通じた助言や指導、研修等を行います。また、地域包括支援センターやケアマネジャー、各種支援センター等が開催する連携会議に参加し、リハビリに関する助言を行います。

●事例検討会・リハビリ従事者研修会

病院や施設の連携窓口担当者やケアマネジャーを対象に定期的に事例検討会を開催します。また、在宅や施設でリハビリに従事されている方を対象に、リハビリ技術のステップアップ研修会を京都府リハビリテーション支援センターと連携して開催します。

3 リハビリの相談窓口

中丹地域
リハビリテーション
支援センター

リハビリ相談窓口

ご相談はお気軽に。費用はかかりません

<http://www.chutan-rh.jp/>

《舞鶴市・綾部市にお住まいの方》

電話 0773-75-2094
FAX 0773-75-2094

中丹東地域リハビリテーション支援センター
〒624-0906 舞鶴市宇倉谷427番地
舞鶴赤十字病院リハビリテーション科内

■ご利用時間
【月～金曜日】午前8時30分～午後5時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

《福知山市にお住まいの方》

電話 0773-22-2101
FAX 0773-22-6334

中丹西地域リハビリテーション支援センター
〒620-8505 福知山市厚中町231番地
市立福知山市民病院 地域医療連携室内

■ご利用時間
【月～金曜日】午前8時30分～午後5時
（土・日・祝日・年末年始を除く）

4 こんにちは、中丹東地域リハビリ支援センターです



私たちは中丹圏域においてリハビリテーションを必要とするすべての方が、住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活が送れるように理学療法士(PT)や作業療法士(OT)や言語聴覚士(ST)等が、一人一人の心身の状況等に応じた適切なリハビリテーションを、急性期から生活期まで継続して受けられるように支援します。(片山支援センター長(中央右)、小幡コーディネーター(中央左)、訪問リハビリスタッフ(一同)より)

5 リハビリ従事者研修会

在宅や施設でリハビリテーションに取り組まれている従事者の方を対象に、本年度は綾部市の中央公民館の1カ所で、東西リハビリ支援センターが合同で2日間の研修を行います。参加は無料です。みなさま、ふるってご参加下さい。

日時内容: 11月11日(金) 第1部 10:00~12:00 「ROM練習」
第2部 13:00~16:00 「地域リハビリテーション」「筋力練習」
12月9日(金) 第1部 10:00~12:00 「福祉用具」「住環境調整」
第2部 13:00~16:00 「トランスファーテクニック」

場 所: 綾部市中央公民館

申込方法: 各保健所から郵送の研修会案内のFAX申込用紙にてお申し込み下さい。10月17日〆切。
(詳しくは中丹地域リハビリ支援センターホームページ研修案内にも載せています)

参加費: 無料

6 リハビリ支援センターQ&A

Q. 利用者様個別のリハビリ相談や利用者様宅でのリハビリ実践指導の実施ができますか？
(訪問看護ステーション)

A. リハビリ相談窓口(P. 3に記載)までご連絡下さい。ご相談の内容に応じて、地域リハビリテーション支援センターまたは協力病院施設から、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士がご自宅にお伺いし、訪問看護師や関係者へアドバイスや指導を行うことができます。ご利用は無料です。必要に応じて後日にフォローアップ訪問も行い、継続性のある指導を行います。

Q. リハビリの方法等について研修会を開いて下さいますか？(訪問看護ステーション)

A. 毎年、地域の在宅や施設でリハビリテーションに関わっている従事者の方を対象に、リハビリテーション従事者研修会を開催しています。本年度は京都府リハビリテーション支援センターと連携して開催します。(詳しくはP. 3参照) また、個別にリハビリ従事者を対象とした訪問指導・アドバイスもできますので相談窓口にてお尋ね下さい。

Q. 病院に言語聴覚士がいないため、入院中の患者様に嚥下や言語訓練などのアドバイスをいただけますか？(病院勤務の理学療法士)

A. 主治医と本人家族様の了解があれば、リハビリ支援センターや協力病院の言語聴覚士が病院で行われるカンファレンス等の連携会議に出席して、関係者にアドバイスや指導をすることができます。リハビリ相談窓口までご相談下さい。

Q. 退院予定患者様の退院後のリハビリについてアドバイスがほしい。(地域包括)

A. 主治医と本人家族様の了解があれば、リハビリ支援センターのコーディネーターが退院前に行われるカンファレンス等の連携会議に出席して、リハビリに関するアドバイスができます。

Q. 退院時に自宅の住宅改修や福祉用具をレンタルしたけど、うまく使えるか不安である。
(ケアマネジャー)

A. 退院前の試験外泊時や退院後にケアマネジャーと同行訪問しリハビリに関するアドバイスができます。入院中のリハビリ担当者とも連携しスムーズな在宅復帰を支援します。

Q. 最近、嚥下に関する評価の依頼が多い。言語聴覚士が嚥下の評価を行う事を一般的に知られていないのでは？。(訪問看護ステーション)

A. 嚥下の評価は言語聴覚士が得意とする分野ですが、最近では看護師等の従事者でも簡単な評価のできる方が増えてきました。より専門的なアドバイスの依頼はリハビリ相談窓口をご利用下さい。リハビリ専門職の役割等については研修会等を通じて広く啓発していきたいと思っております。

【中丹東地域リハビリ支援センター 小幡彰一】

